

労農連帯の真価をにかけて 全ての取場から総結集しよう

全ての組合員みなさん！ 今、われわれは、目前に迫った「三・三〇三里塚現地集会」の圧倒的成功を勝ちとらなければならない。政府・空港公団は、今、全力をあげて反対同盟解体・二期工事強行の攻撃をかけてきている。それは「三里塚こそが八〇年代階級闘争の焦点中の焦点」であり、「支配者側の最も破産的な弱点」となってしまう事を、支配者自らが感じとっているからにほかならない。現在、反対同盟は「公団用地貸付」・「成田用水」・「千代田農協移転策動」というかつてない陰險な攻撃に対決して、敷地内農民と青行隊を中心とする全力の反撃にたち上っている。「三・三〇の大結集」をもってこの同盟の闘いを支え、共に闘う決意をはっきりと示そうではないか。

卑劣な組織破壊攻撃に つて闘う反対同盟！

二期工事着工が、支配の側にとってさし迫ったものになればなるほど、敵は反対同盟の解体を狙って攻撃を激化させる。かつて、われわれがマル生攻撃を受けた時と同じように、敵は団結の基礎である相互信頼と道義をすたすたに踏みじらせひとりひとりの農民を陰惨な葛藤にひきずり込もうと必死でうごめき始めたのである。

反対同盟農民は、今、全力でそのような攻撃と闘っている。

農民から強奪した「土地」と「水」を「エサ」にしたで、「農業がやりたいなら言うことをきけ」とゆさぶり、つけこもうとする公団……。この人を人ともおもわぬ卑劣な攻撃に、男も女も、老人も子供も区別なく一身に受けて、親子、兄弟、親戚や隣近所の断絶をまかけて闘っている反対同盟農民の苦悩を共有し共に闘い、粉碎することを、はっきりと確認しようではないか。

三里塚は自分自身の闘いだ

かつてわれわれは「マル生」という名をもってする同じような攻撃を受けた。「特別昇給」と「クビ」をちらつかせたアメとムチの攻撃で、年々の友を失う者や、裏切る者の続出という苦境に歯を喰いしびりながら闘って勝利しぬいたことを忘れてはならない。反対同盟農民が、この十五年間の闘いの中でも最も苦しい正念場の闘いに総決起している今、この苦悩を本当にわち合い真の連帯をもって勝利への展望を示しうるものは、われわれをおいて居ないのではないか！

「国鉄再建法案」＝三五万人体制合理化攻撃をもって、反動と侵略＝天皇制イデオロギーと軍事大国化の政策推進のための運輸・交通政策の一環

として「国鉄」を再編成し、国鉄労働運動を圧殺しようとする攻撃が急ピッチでしかけられてきている現状の中で、動労千葉が三里塚・ジェット闘争を闘い抜いてきた大義を踏まえ三里塚農民に真に連帯した闘いができるか否かは、優れて自分自身の問題なのである。

われわれは、この八〇春闘を「三里塚・ジェット」「三五万人体制粉砕」「動労大改革」の視点をもち「三里塚ー反合春闘」として闘い抜くことを第二回定期委員会の中で確認してきた。

今こそ、労農連帯の真価をかけて、全支部から、三・三〇三里塚へ総決起しよう！



全国から
多くの人が
3.30集会に
集まってくる
ほしい！

四干メートル一本だけでも、公団用地の貸し付けが成田用水、農協移転とかで反対同盟を分断し、二期工事に向けて外堀からくすいていくというのがねらいなのだ。

この十四年間、われわれ農民を虫ケラくさいにしか思わないで、土地をむりやりとりあげて農民を殺すばかりでなく、ボロシル4という除草剤まいて、土地まで殺しているのだ。

(木の根)小川源さん



そんな公団がよ、「農業振興のため」なんて甘い言葉でいよいよたつて聞くんじゃねえ。